

淡海生涯カレッジ長浜校の実践

長浜校実行委員会

1. テーマについて

本校は、平成9年の開講以来、身近な環境問題をテーマに講座を実施してきました。平成15年に長浜バイオ大学が開校してからは、理論学習講座を長浜バイオ大学で担当していただいております、環境をテーマにしてより充実した内容により講座が実施できています。平成27年度は、「身近な問題から見つめ直そう～バイオテクノロジーから自然環境まで～」をテーマに下記の18講座を実施しました。

(1) 問題発見講座

会場：第1回 長浜バイオ大学、第2回 黒壁スクエア、第3回 菅浦、第4回 河内風穴、第5回 竹生島

回	月日	時間	テーマ	講師
1	6月13日(土)	9:00~12:30	・開講式 ・講演「我々の生活とバイオテクノロジー」	長浜バイオ大学 教授 蔡晃植
2	6月20日(土)	10:00~12:00	【企業見学】 黒壁スクエア散策とガラス体験教室	株黒壁 伊吹 健
3	6月27日(土)	12:15~16:45	【現地研修】 国の重要文化的景観・菅浦の魅力に迫る	菅浦惣村の会 会長 島田 均
4	7月4日(土)	12:30~17:00	【フィールドワーク】県指定天然記念物・鍾乳洞『河内風穴』探検	多賀町立博物館 主任学芸員 阿部勇治
5	7月25日(土)	12:00~16:00	【フィールドワーク】湖北の魅力再発見!!!琵琶湖に浮かぶ神秘的島“竹生島”散策	宝厳寺 管主 峰 覚雄

※第2回:材料代(1,000円)、第3回:景観保全協力代(1,000円)、第4回:入場料500円、第5回:渡船代(1,000円)は自己負担となります。

※第4、5回:天候により予定が変更となる場合があります。

(2) 実験・実習講座

会場：「第6回」長浜市役所

「第7~11回」市内の高校及びバイオ大学(各担当講師の方の高校及びバイオ大学が会場となります。)

回	月日	時間	テーマ	講師
6	8月8日(土)	13:30~15:30	レンズの実験と眼の錯覚の話	伊香高等学校 教諭 平塚隆三
7	8月22日(土)	9:30~11:30	身の周りの物理現象	長浜北高等学校 教諭 福田康二
8	8月29日(土)	8:30~16:30 ※内1時間半を予定	夜空への想い(プラネタリウム)	長浜北星高等学校 教諭 西川 聡
9	9月5日(土)	13:30~15:30	観察・仮説・実験~ワークショップで体験する科学的探究~	虎姫高等学校 教諭 松宮敬広
10	9月12日(土)	12:30~17:00	DNA鑑定でお酒に強いかわ調べよう!	長浜バイオ大学 准教授 佐々木真一
11	9月26日(土)	13:30~15:30	豆腐の製造	長浜農業高等学校 教諭 大橋拓朗

(3) 理論学習講座 土曜特設講座

※このカレッジのために長浜バイオ大学に特設される講義です。

会場：「第12~18回」長浜バイオ大学

NO	月日	時間	テーマ	講師
12	10月10日(土)	13:30~15:30	骨は環境に応じる	長浜バイオ大学 教授 野村慎太郎
13	10月17日(土)	13:30~15:30	魚類を用いた環境問題解決への挑戦	長浜バイオ大学 准教授 池内俊貴
14	11月7日(土)	13:30~15:30	脳梗塞と実験動物	長浜バイオ大学 教授 永井信夫
15	11月14日(土)	13:30~15:30	バイオが生み出す魔法の弾丸：抗体医薬	長浜バイオ大学 教授 西義介
16	11月21日(土)	13:30~15:30	植物の進化の陰に細菌あり	長浜バイオ大学 講師 今村綾
17	11月28日(土)	13:30~15:30	酵素について考える—その歴史から産業利用まで—	長浜バイオ大学 講師 中村卓
18	12月12日(土)	13:30~17:00	・植物の営みを知ろう ・閉講式	長浜バイオ大学 教授 蔡晃植

2. 実施体制について

大学等の高等教育機関や高等学校など様々な学習機会提供機関との連携により実行委員会を組織しています。

実行委員会では、問題に気づき（問題発見講座：現地研修等を実施しながら、興味や関心を抱き問題のありかを探る）、自分の目で確かめ（実験実習講座：市内高等学校等において調査、観察、実験などを通して、より体系的に問題を把握する）、そして理論を深める（理論学習講座：長浜バイオ大学にて最先端科学を分かりやすく学ぶ）広域的で体系的な学習プログラムの提供に努めています。地域にある公民館や高等学校、公共施設等での見学・実習の学習から、大学での講義まで段階的に学習することにより、高度で専門的な学習を行うことができます。また、班ごとに受付や司会、感想文の記入などの役割分担を決め、講座の運営にあたっていただくことにより、受講生同士の繋がりを深めることができ、主体性をもって本講座を受講することができるようにしています。

3. 受講者について

平成21年度以降、申込者が定員を上回り、平成25年度以降には抽選を実施してきております。平成27年度には、過去最高となる60名の申し込みがあり、特に新規の申込者のみで定員を超えてしまい、淡海生涯カレッジに対する関心の高さがうかがえました。

・申込者数及び受講者数一覧

開催年度	申込者数	受講者数
平成9年度	26名	26名
平成10年度	21名	21名
平成11年度	29名	29名
平成12年度	13名	13名
平成13年度	19名	19名
平成14年度	24名	24名
平成15年度	30名	30名
平成16年度	30名	31名
平成17年度	31名	34名
平成18年度	34名	34名
平成19年度	23名	23名
平成20年度	22名	22名
平成21年度	32名	32名
平成22年度	43名	43名
平成23年度	38名	38名
平成24年度	37名	37名
平成25年度	50名	35名
平成26年度	44名	35名
平成27年度	60名	34名



☆沖島でのフィールドワーク



☆長浜水道企業団へ企業見学

(受講生の声)



① 長浜校の魅力、また受けてよかったと思うこと

- ・最先端の講義が聴けて非常によかった
- ・日頃の疑問が少し解決できた
- ・地元のバイオ大学で環境に密着したサイエンスを勉強できてよかった
- ・レベルが高く理解が難しい部分もあったが有意義だった
- ・研究内容をわかりやすく講義いただきありがたかった
- ・高校は独自の身近な内容で実験できてよかった
- ・バイオ大学へ初めて足を踏み入れることができ、施設そのものへ入れたことにまず感動した
- ・問題発見講座で広範囲な所へ行けたことがよかった
- ・人との新たな繋がりができ交流がもてて楽しかった
- ・カリキュラムが広範囲にわたっており飽きのこない内容であった
- ・山に行ったり高校で学んだり、外で学ぶ機会が持てて良かった
- ・人との出会い・ふれあいができてよかった
- ・内容も盛りだくさんだったが、学び合える機会が多く嬉しかった
- ・難解なことをやさしく教えてもらえた
- ・大学の先生がわかりやすく、噛み砕いて話してくださるのが助かりました
- ・高校の先生も準備をよくしてくださってありがたかった
- ・新しい知識が増えた事、多くの学びの友が増えたこと
- ・最初は講座の内容についていけるか心配だったが、分かり易く説明していただけてよかった
- ・前年の反省点を生かされた運営をされていて良かった
- ・卒業校だけでなくいろんな高校に行けて新鮮だった

② 改善すべきことや提案

- ・質問の時間をもう少し長く取って欲しい
- ・班メンバーを途中で入れ替えてはどうか
- ・受講内容に意見が言えるような機会があればよい
- ・講座途中で交流会がもてたら良かった
- ・企画に口を出していけるオブザーバーシステムを取り入れたらどうか
- ・各生涯カレッジの横のつながり（他校との繋がり）をもつ機会があれば
- ・6カ月では短い。もっと長期受講したい
- ・先に授業の資料をいただいて予習したい
- ・申込者全員参加させてほしい
- ・文化、歴史等勉強も取り入れてもらいたい

4. 今後の展開について

開講当時、当市では環境基本条例の策定中であり、また市民の環境に対する関心が高く、環境学習や市民団体の環境活動が盛んに行なわれていたことから、本講座の開講にあたり、市民の関心、行政の施策、大学の役割を鑑み、「環境」をテーマに取り組むこととなり、それが現在に続いています。

今後は、この学びを実践につなげていただけるように、環境問題に対する積極的な取り組みだけではなく、地域課題の解決に向けた活動やボランティア活動の実践にも結び付けていただけるように、内容を精査しながら、参加者がより主体的に学べる講座となるようにしていく必要があります。

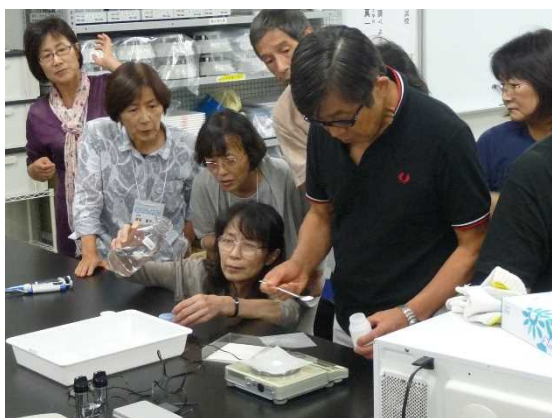
5. これまでの軌跡



☆権座・水郷を守り育てる会



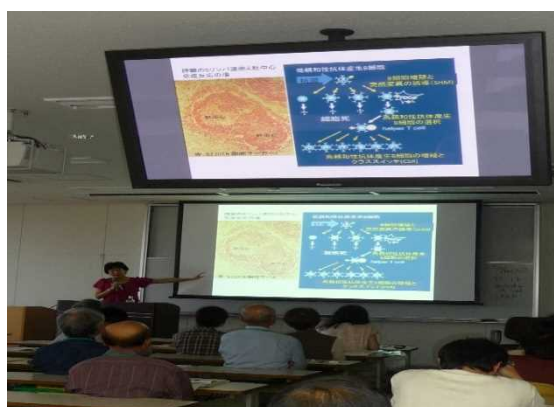
☆余呉のブナ林を訪ねて



☆バイオ大学にて DNA 鑑定



☆高等学校での実験実習



☆バイオ大学で学ぶ最先端科学



☆夜空への想い～プラネタリウム～